

第3回 伊藤健彦さん (東京大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第3回目は、伊藤健彦さん (東京大学) にご執筆いただきました。

「日本人がいない」。私が、交換留学生として、アメリカのプリンストン大学大学院で研究を始めた頃の印象です。キャンパス内で日本人に会うことはほとんどなく、全くの異文化の中で研究生を送りました。

私は、社会心理学を専門とし、特にステレオタイプや偏見に関心があります。現在は、博士論文として学歴に関する偏見について執筆しています。プリンストンでは、人種や性別に関する偏見についての議論が活発に行われ、刺激的な日々を送れました。また、大学内の寮に住んでいたために、夜遅くまで他の学生と交流し、Publish or Perish と言い合いながら研究に取り組みました。

アメリカでのアジア人学生数は増えていますが、日本人学生は少ないため、私たちが目立つチャンスであるとも捉えられます。学生のうちに一度留学するのも、新しい視点を得る意味で有意義かと思います。

伊藤健彦さん

【ご所属】 東京大学社会心理学研究室

【ご連絡先】 take978@gmail.com

【その他】 私の活動に興味を持っていただける方は、ぜひご連絡をいただければと思います。

次回のコラムリレーは、

久永聡子 (Satoko HISANAGA) さん (熊本大学)

にご執筆いただきます。